

事業番号	事務事業名	沢丹土線改良事業費	所管課名	建設課	令和 2 年度課長名	安道 智秋
03841	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係	担当者・シート作成者	牧野 丈夫
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (1 年度~ 2 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	町の管理する林道の改良、舗装事業のうち小規模で国庫補助の対象とならず、県補助(小規模林道整備事業)の対象となるものの補助業務、工事及びそれに伴う業務。 ・補助業務 ①補助申請等 ②設計審査 ③実績報告 ④補助金請求 ・工事 ①測量設計業務(委託) ②工事発注 ③施工管理 ④完了検査 ⑤その他(地元説明)	赤和瀬地区に存する主要な森林施業道であるが、路面洗掘や路肩崩壊箇所が点在し危険なため、修繕に至ったものである。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 林道沢丹土線	ア 利用区域面積	ha	見込 実績		111 111	111 111		
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 森林施業の利用向上を図る	ア 改良延長	m	目標 実績 達成率		100 100 100.0%	15 15 100.0%		#DIV/0!
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 施工管理	ア 施工管理	式	目標 実績 達成率		1 1 100.0%	1 1 100.0%		#DIV/0!
イ 補助事務	イ 補助事務	件	目標 実績 達成率		1 1 100.0%	1 1 100.0%		#DIV/0!
ウ 地元調整	ウ 地元調整	回	目標 実績 達成率		1 1 100.0%	1 1 100.0%		#DIV/0!

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01	款 06	項 02	目 02	大事業	中事業	予算上の事業名					事業番号	
	一般会計	農林水産業費	林業費	林業振興費	07	17	沢丹土線改良事業費					03841	
予算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	決算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金		1,405	3,600			2,195	県支出金		1,405	3,600			2,195
町債		3,600	7,800			4,200	町債		3,600	7,800			4,200
その他特財		492	1,314			822	その他特財		492	1,314			822
一般財源		25	365			340	一般財源		25	365			340
合計		5,522	13,079			7,557	合計(A)		5,522	13,079			7,557
財源名称	小規模林道整備事業			従事正職員人数					1	1			
	辺地対策事業債			延べ業務事務時間					50	50			
	地元負担金			人件費計(千円)(B)					175	167			-8
	最終予算額		13,079 千円	予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)			5,697	13,246			7,549
主な支出事業内容(予算)	委託料			715 千円			主な支出事業内容(決算)	委託料			715 千円		
	工事請負費			12,364 千円				工事請負費			12,364 千円		

事業番号	03841	事務事業名	沢丹土線改良事業費	所管課名	建設課
------	-------	-------	-----------	------	-----

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
木材価格が低迷し、森林所有者の施業意欲の低下、林業所得の減少、林業就業者の減少・高齢化等が悪循環をなして進行している。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
特に無し。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
本路線において路肩崩壊、路体流失箇所等があり危険であることから早期整備を地元から強く要望されている。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	本路線を整備により、安心安全な通行が図られ、森林の整備・環境保全の推進につながる。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	公共施設の適正な管理は町の義務であり、森林の整備は環境保全にもなるので妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	工事は対象は町の管理する林道であり、整備することにより林道利用者の安心安全な通行が図られる事業であるため適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	おおむね要望どおり実施できている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	林業を取り巻く環境を考慮すると、受益者単独ですべての維持管理を行うことは困難である。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	これ以上の改善余地はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	県補助事業としての規格を満たす必要がある。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	人件費は、補助申請、打ち合わせ、設計委託、入札、実績報告に係るものであり削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	受益地の所有者に最もメリットがあるが、林道維持によって行われる森林施業は森林保全につながり、水源かん養等広い範囲での便益がある。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	森林施業には欠かせない道であり、要望に応じて適正に整備していく必要がある。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 県との調整を行ないながら事業費を確保し、計画的な事業推進を図る。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								